

平成 24 年 11 月 29 日
医政局研究開発振興課

i P S 細胞等の臨床研究安全基盤整備支援事業の公募結果

i P S 細胞研究がノーベル賞を受賞するなど、再生医療研究に関する国際競争は、激化してきており、日本の i P S 細胞研究等について、安全対策を含め、更に推進する施策の早期実施が必要と考えます。

そこで、i P S 細胞等の移植後の検証が可能となるよう、臨床研究時の i P S 細胞等を保管するための「ヒト幹細胞アーカイブ」の設置等を推進することとしました。

このたび、厚生労働省で、公募により本事業の実施機関を募集した結果、次の 6 機関を選定しましたので公表いたします。

- ・ 大阪大学
- ・ 京都大学
- ・ 熊本大学
- ・ 国立成育医療研究センター
- ・ 先端医療振興財団
- ・ 東京女子医科大学

(五十音順)

1 事業概要

- 移植に用いた i P S 細胞等のヒト幹細胞を保存用タンクに保管しておき、移植から時間が経過した後に、移植に用いたヒト幹細胞を遡って検証が可能となる保管体制を整備するための事業。
- 選定された機関は、以下の体制を整備。
 - ・ 移植に用いたヒト幹細胞の長期的保管体制
 - ・ 他の医療機関等と連携し、ヒト幹細胞を受入する体制
 - ・ 移植から時間が経過した後に、移植に用いたヒト幹細胞を検証する体制
- 各機関から提出される整備計画に基づき、1 機関当たり 1.6 億円の範囲内で、体制整備に必要な事業費を補助。
- 補助期間は平成 24 年度。

2 選定の過程

- 全国の病院又は研究機関を対象に、11 月 2 日から 11 月 14 日まで公募を行い、21 機関から応募。
- 臨床研究・治験、法律等の専門家の計 7 名から構成される会議を設置し、提出された応募申請書について、同会議構成員により評価。
- 会議の評価結果を踏まえ、厚生労働省において 6 機関を選定。